

令和5年度 重点政策一覧

Point 1 暮らしを守る

1 やさしく温かい社会づくり

227.0 億円

やさしく温かい社会づくりに向け、子どもの権利擁護や不妊治療費の助成、こどもファスト・トラックの取組など新たな司令塔のもと道の関連政策を総動員して社会全体で子育てを支える「子ども応援社会」を推進するほか、障がい者ピアサポーターの養成や生活に困難を抱える方への重層的な支援等により、誰もが安心して健やかに暮らせる環境づくりに取り組みます。

<子ども応援社会の実現>

(単位：千円)

施策名	施策の概要	令和5年度予算額	
		2定補正	2定現計
子どもの権利擁護 【保健福祉部】	児童相談所の一時保護等の措置に対し、子どもの権利の理解促進や意見表明を支援する体制の構築を図る。 【こどもの権利擁護体制強化事業】	10,000	10,000
子どものバクトランスファー 【保健福祉部】	高度・専門医療機関で治療を受け、医学管理の継続が必要な小児患者を対象に、地域の医療機関へ固定翼機による戻り搬送を実施。 【小児患者バクトランスファー固定翼機運航事業】	34,289	34,289
不妊治療費の助成 【保健福祉部】	不妊治療を受ける方の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外となる不妊治療(先進医療)に要する費用及び交通費の一部を補助。 【不妊治療費等助成事業】	61,783	61,783
スポット支援員の配置など保育体制の強化 【保健福祉部】	保育士の働きやすい職場環境を整備するため登園時の送迎対応等を行うスポット支援員の配置等に要する費用の一部を補助。 【保育緊急確保事業】	138,820	183,042
地域の子育てを支援 【保健福祉部】	市町村が実施する地域子育て支援拠点の運営などの事業に補助するとともに、放課後児童クラブ等の施設職員に対し研修を実施。 【地域子ども・子育て支援事業】	4,506,108	6,805,881
こどもファスト・トラックの推進 【保健福祉部】	道有施設における子連れの方等に向けた優先サービスの取組を進め、市町村や民間事業者への展開拡大に向けた普及啓発を実施。 【こどもファスト・トラック推進事業(非予算事業)】	—	—

<道民生活の安定や足腰の強い地域経済の構築>

生活に困難を抱える方への重層的な支援 【保健福祉部】	社会福祉法に基づき市町村が実施する、重層的支援体制整備事業に要する費用の一部を補助。 【重層的支援体制整備事業費補助金】	56,542	56,542
生活困窮者への支援 【保健福祉部】	自立相談支援機関と連携し、生活困窮者への支援を行うNPO法人等に対し、支援活動に要する費用の一部を補助。 【生活困窮者支援民間団体活動助成事業】	59,000	59,000
中小企業の経営安定化のための支援 【経済部】	金融機関に資金を預託し、金融機関は道が定める融資条件で事業者に融資することで、中小企業者に対する円滑な融資を促進。 【中小企業総合振興資金貸付金】	17,692,000	322,085,000
グローバルリスク分散に向けた調査実施 【総合政策部】	国際情勢の変化に対して機動的に対応するため、グローバルリスク分散に係る調査事業を実施し、道内企業を支援。 【北海道グローバル戦略推進事業】	5,000	5,000

<地域医療の充実や障がいのある方がいきいきと暮らせる環境づくり>

小児期医療から成人期医療への円滑な移行 【保健福祉部】	小児慢性特定疾病患者等が小児期医療から成人期医療へ円滑に移行できるよう、「移行期医療支援センター」を設置。 【移行期医療支援体制整備事業】	3,406	3,406
障がい者ピアサポーターの養成 【保健福祉部】	障がい者の雇用促進や質の高いピアサポート活動を推進するため、障がい者ピアサポーターを養成。 【障がい者ピアサポーター養成事業】	3,750	3,750

<犯罪等の防止、女性への支援など安全安心の対応強化>

特殊詐欺被害防止対策の強化 【環境生活部】	高齢者の特殊詐欺被害を防止するため、特殊詐欺電話体験会の開催のほか、啓発動画等による普及啓発を実施。 【特殊詐欺対策事業】	2,611	2,611
日本語教育の体制づくり 【総合政策部】	日本語学習意欲のある全ての外国人に日本語学習機会を提供できる体制を構築するため、地域と連携した事業を実施。 【日本語教育等による多文化共生推進事業】	7,114	7,114
性の多様性への理解促進 【環境生活部】	性の多様性の理解促進を図るため、テレビCMのほか企業向け研修動画による普及啓発を実施。 【性の多様性理解促進事業】	3,860	3,860
動物愛護管理センターの機能充実 【環境生活部】	道央地区に自然災害や感染症発生時におけるペット受入など多様な業務を担う基幹センターを整備。 【動物愛護管理センター施設整備】	120,000	120,000

2 命と生活を守る基盤づくり

85.4 億円

命と生活を守る基盤づくりに向け、市町村が実施する津波避難施設等の整備を支援するほか、高校生を対象とした防災教育を推進するなど、ハード・ソフト両面から巨大地震や津波などへの対策を推進します。また、新たな感染症に柔軟かつ機動的に対応できるよう関係機関との連携を強化するとともに、地域交通の確保に向けて連携を強化するなど暮らしを支える環境づくりに取り組みます。

<巨大地震や津波への備え、地域防災力の強化>

(単位：千円)

施策名	施策の概要	令和5年度予算額	
		2定補正	2定現計
津波における避難施設等整備への支援 【総務部】	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への対策として、津波避難タワー等の施設を整備する市町村に対して、その費用の一部を支援。 【津波避難施設等整備特別対策事業費補助金】	33,000	33,000
災害時の情報収集能力の強化 【総務部】	大規模災害発生時に関係機関が迅速・的確に災害応急対策を実施するため、災害時の情報収集能力の強化を図る。 【災害時オペレーションシステム整備】	7,041	29,921
地震に対する避難意識の向上 【総務部】	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への避難意識の向上のため、地震の仕組み、被害想定を理解促進となる動画を作成し、研修等を実施。 【防災教育推進費】	2,967	3,750
高校生防災教育の推進 【教育庁】	地域と連携した学校安全体制の構築や生徒の防災意識の向上を図るため、一日防災学校や高校生防災サミットを実施する。 【高校生防災教育推進事業】	4,416	4,416

<感染症への柔軟で機動的な体制の構築>

新たな感染症への体制の構築 【保健福祉部】	「北海道感染症対策連携協議会」を設置し、市町村、関係機関等と感染症対策における更なる連携の強化を図る。 【感染症対策危機管理体制基盤整備事業】	3,703	3,703
感染症への対応 【保健福祉部】	新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえ、新たに外来対応を行う医療機関への設備整備や、診療に係る治療薬の公費支援を実施。 【保健所体制強化事業、感染症医療費、感染症医療提供体制整備事業、自宅療養者等支援事業】	8,389,126	15,802,956

<航空路線や道路網の充実、持続可能な地域交通や物流の確保>

国際航空定期便就航等に向けた取組 【総合政策部】	道内地方空港へ国際定期便の新規就航・運航再開した航空会社に対し支援をするほか、道民の海外旅行の機運醸成のため情報発信を実施。 【国際航空定期便再開促進事業、国際航空定期便就航促進事業、国際線利用促進緊急対策事業】	32,500	32,500
航空ネットワークの充実・強化 【総合政策部】	航空ネットワークの充実・強化に向け、知事等によるトップセールスを実施するほか、定期路線の新規就航等に対する支援を行う。 【新規就航誘致活動事業、道内地方空港新規路線誘致促進事業、民間委託外空港チャーター便誘致事業、道内航空需要創出広域連携事業】	52,705	52,705
域内交通の連携体制の構築 【総合政策部】	交通事業者や関係者による緩やかな連携モデルを構築し、横展開を図ることで、シームレス交通の実現に向け取り組む。 【域内連携型シームレス交通推進モデル事業】	1,864	2,628

次世代型交通の推進 【総合政策部】	EVバス導入の促進のため、積雪寒冷条件におけるテスト走行や性能評価を実施。 【次世代型交通推進事業】	5,000	5,000
地域物流の維持に向けた取組 【総合政策部】	安定的・持続的な物流の維持に向け、事業者が実施する「地域輸送拠点」整備の実証実験及び再配達削減の啓発活動に国と連携し取り組む。 【地域輸送効率化推進事業〈非予算事業〉】	—	—
学生に対する航空関連業務の認知度向上 【総合政策部】	航空地上支援業務（グランドハンドリング）人材の認知度向上や職業観形成のため、高校生までを対象とした航空教室等の実施を支援。 【航空地上支援業務普及啓発事業】	2,865	2,865
運輸人材の確保 【総合政策部】	地域交通や物流の維持・確保のため、人材確保のPRを実施し、その効果を事業者と共有。 【運輸人材確保推進事業】	1,778	1,778

3 持続可能な一次産業づくり

36.2 億円

持続可能な一次産業づくりに向け、先進技術の普及や人材育成などによりスマート農林水産業を推進することで、一次産業における省力化や収益性の向上を図るとともに、麦や大豆といった輸入依存作物の国産化や道産農水産物の消費拡大、鳥獣被害対策の推進など、食料自給率の向上に寄与します。

<スマート農業の推進、農業生産者への支援や鳥獣被害対策の強化>

(単位：千円)

施策名	施策の概要	令和5年度予算額	
		2定補正	2定現計
農業者の経営安定化に向けた支援 【農政部】	高騰する肥料購入費の負担を軽減するため、道内の農業者に対して化学肥料購入支援金を給付。 【肥料価格高騰緊急対策事業】	2,085,234	2,085,234
酪農・肉用牛経営の安定及び経営継承のための支援 【農政部】	酪農・肉用牛経営の安定及び円滑な経営継承のため、長期・低利の借換資金の融通を行う融資機関に利子補給を実施。(融資枠20億円) 【農業金融対策推進費(畜産特別支援資金融通事業利子補給費補助金)】	210	12,693
スマート農業技術の導入支援 【農政部】	スマート農業技術の導入と全道への普及拡大のため、実証成果や活用事例の情報共有、地域の専門人材の育成、先端技術の導入を支援。 【スマート農業推進事業】	8,141	8,141
ゲノミック評価技術を活用した乳牛改良の普及 【農政部】	酪農家の経営体質強化のため、ゲノミック評価技術を活用した乳牛改良の普及に向けて、モデル農家による実践等を支援。 【経営体質強化に向けた牛群改良加速化事業】	38,238	38,238
農業経営の近代化に向けた支援 【農政部】	融資機関が行う長期・低利な施設整備資金等の融通を円滑にするため、利子補給を行い農業経営の近代化を図る。(融資枠40億円) 【農業金融対策推進費(農業近代化資金利子補給金)】	3,443	157,173
北海道米の消費拡大と新たな利用の促進 【農政部】	北海道米の更なる消費拡大に向けた取組、直播向け品種や新たな省力化技術等の導入、米粉の利用拡大の取組を推進。 【ごはん食拡大・米産地づくり推進事業、米粉利用拡大対策推進事業】	7,683	7,754
麦・大豆の国産化の推進 【農政部】	産地と実需が連携して行う麦・大豆の国産化推進のため、ブロックローテーションや営農技術の導入等による生産性向上や増産を支援。 【麦・大豆生産技術向上事業】	1,242,682	4,922,782
北海道和牛ブランド力の強化 【農政部】	北海道和牛のブランドの確立と競争力強化のため、トップエリート牛群の早期造成や特色ある種雄牛の作出、飼養技術向上などに取り組む。 【北海道和牛ブランド創出推進事業、北海道和牛繁殖基盤造成事業、国際貿易協定に対応した道産牛肉生産強化・消費拡大事業】	1,042	7,087
産地の収益力強化と持続的な発展 【農政部】	産地競争力の強化や産地合理化の促進のために必要な施設等の整備を支援。 【強い農業づくり事業】	1,040	1,971,349
ワイン用ぶどうの生産力向上 【農政部】	ワイン用ぶどうの生産量増加や品質の安定化を図るため、せん定技術に係る講習会等を開催。 【ワイン用ぶどう生産力向上推進事業】	1,917	1,985
総合的なヒグマ対策の推進 【環境生活部】	市街地へのヒグマ出没対策のため、AI等を用いた生息密度推定手法の検討・検証やWebコンテンツによるヒグマ生態の普及啓発に取り組む。 【ヒグマ対策推進費】	11,729	43,632
市町村のエゾシカ捕獲対策への支援 【環境生活部】	市町村のエゾシカ捕獲事業推進のため、インセンティブ拡充によりメス捕獲比率の高い冬期捕獲を誘導し、個体数の効率的な削減を図る。 【地域づくり総合交付金】	(4,005,000千円の内数)	(4,620,000千円の内数)